

胆江圏域の地域医療構想に係る具体的対応方針について

1 地域医療構想について

急速な少子高齢化が進む中、医療介護需要の増大と疾病構造の変化が予測され、限られた医療資源を効率的かつ効果的に活用することや、医療と介護の連携を図るため、患者のニーズに応じ、高度急性期から急性期、回復期、慢性期、在宅医療・介護に至るまで一連のサービスが切れ目なく、過不足なく提供される医療体制の確保を目指すもの。

2 具体的対応方針の調査結果の概要

胆江圏域においては、令和5年度末に地域医療構想における具体的対応方針を策定しているが、最近の状況を踏まえた修正案を検討のうえ、再度、具体的対応方針として決定するもの。

胆江圏域内の病院及び有床診療所から報告いただいた病床機能別病床数について、別紙1のとおりである。

(1) 現 状

ア 圏域内の病床数について

2025年病床数見込は1,258床（精神病床を除く）となっており、2025年に必要とされる病床数である1,114床を上回っている状況。

なお、県立江刺病院の休床58床が令和7年度から廃止される見込みであり、同病院は回復期60床となること。

イ 病床機能別病床数について

(ア) 急性期

令和6年度での2025年（令和7年）病床数見込は367床となっており、2025年（令和7年）必要病床数357床との差は10床の余剰となっている。

(イ) 回復期

令和6年度での2025年（令和7年）病床数見込では467床となっており、2025年（令和7年）必要病床数312床との差は155床の余剰となっている。

(ウ) 慢性期

令和6年度での2025年（令和7年）病床数見込では344床となっており、2025年（令和7年）必要病床数445床との差は101床の不足となっている。

(2) 方向性について

ア 圏域内の病床数については、必要病床数を維持していく。

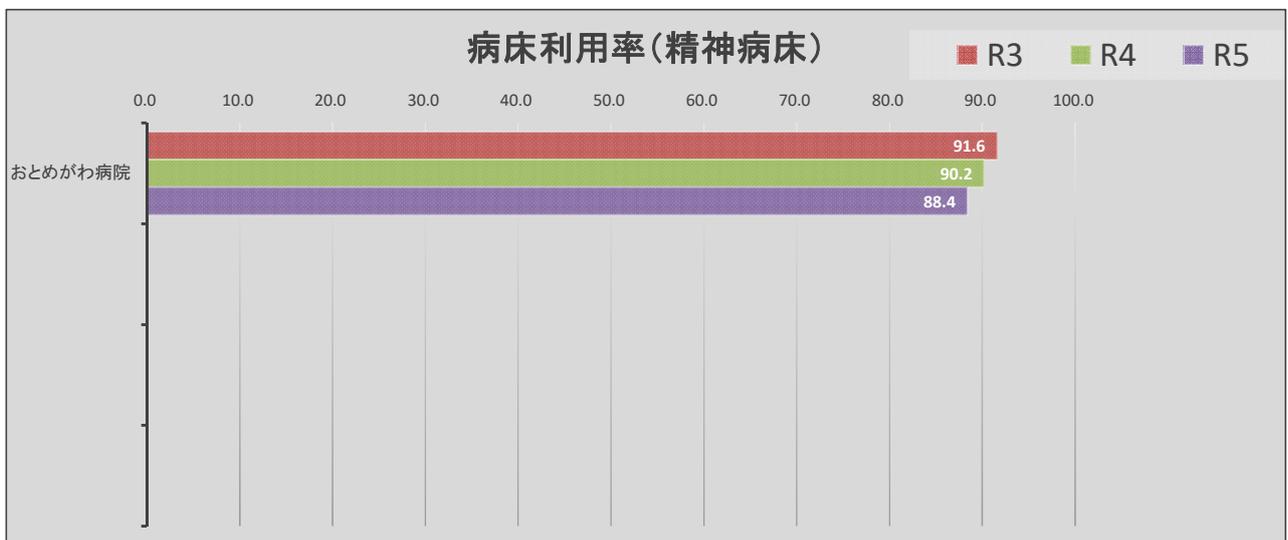
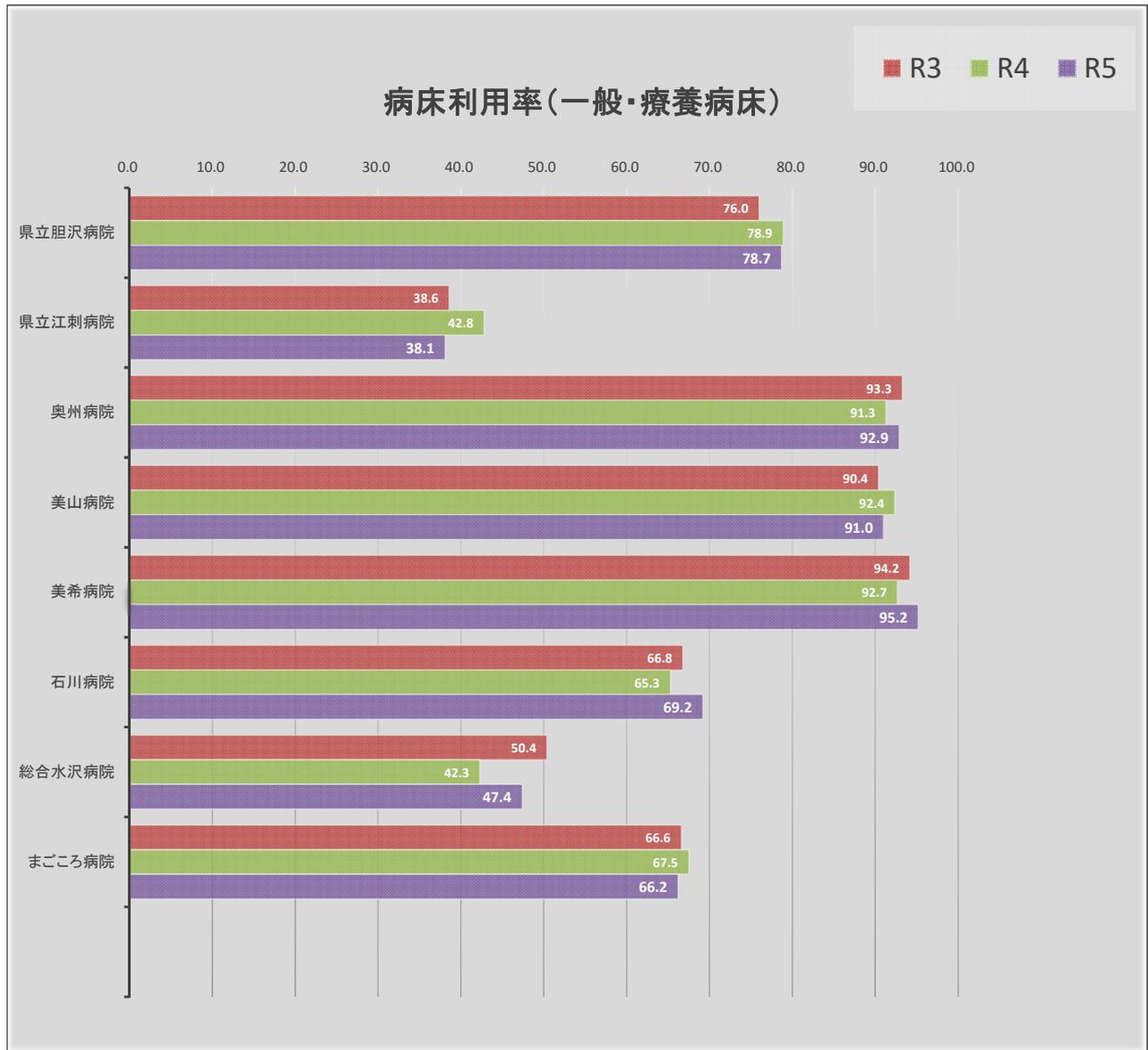
イ 病床機能別病床数については別紙1のとおりとする。

ウ 医療と介護の連携や在宅医療の充実に向けた取組について、医療機関や関係施設、団体等とより一層進めていく。

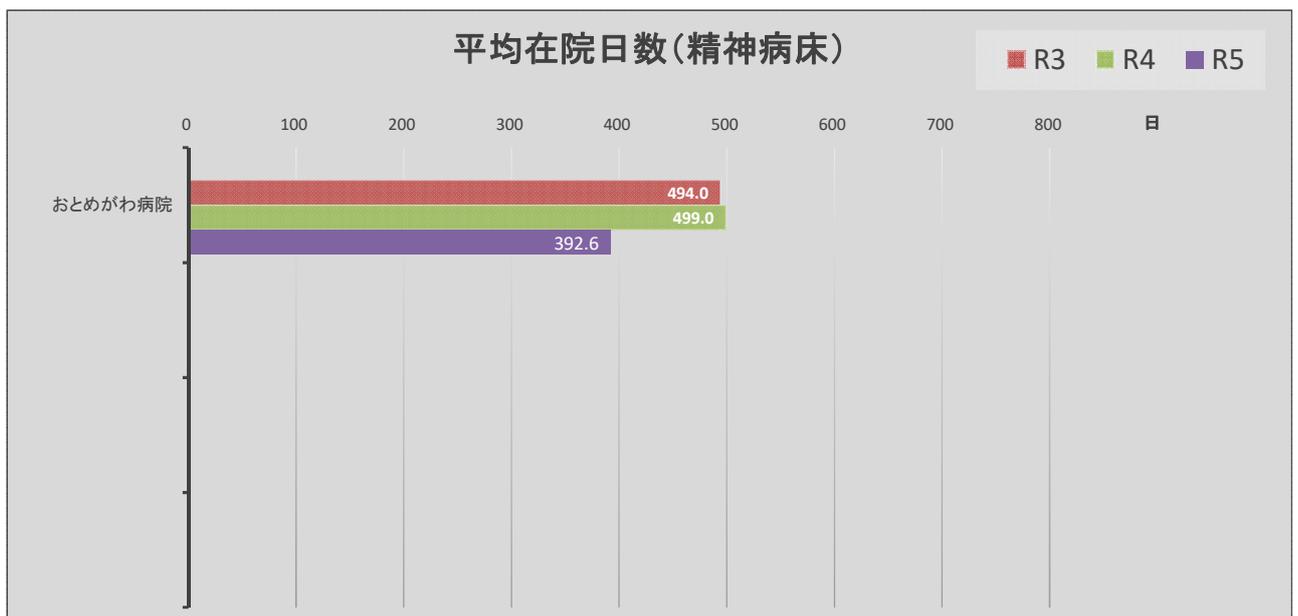
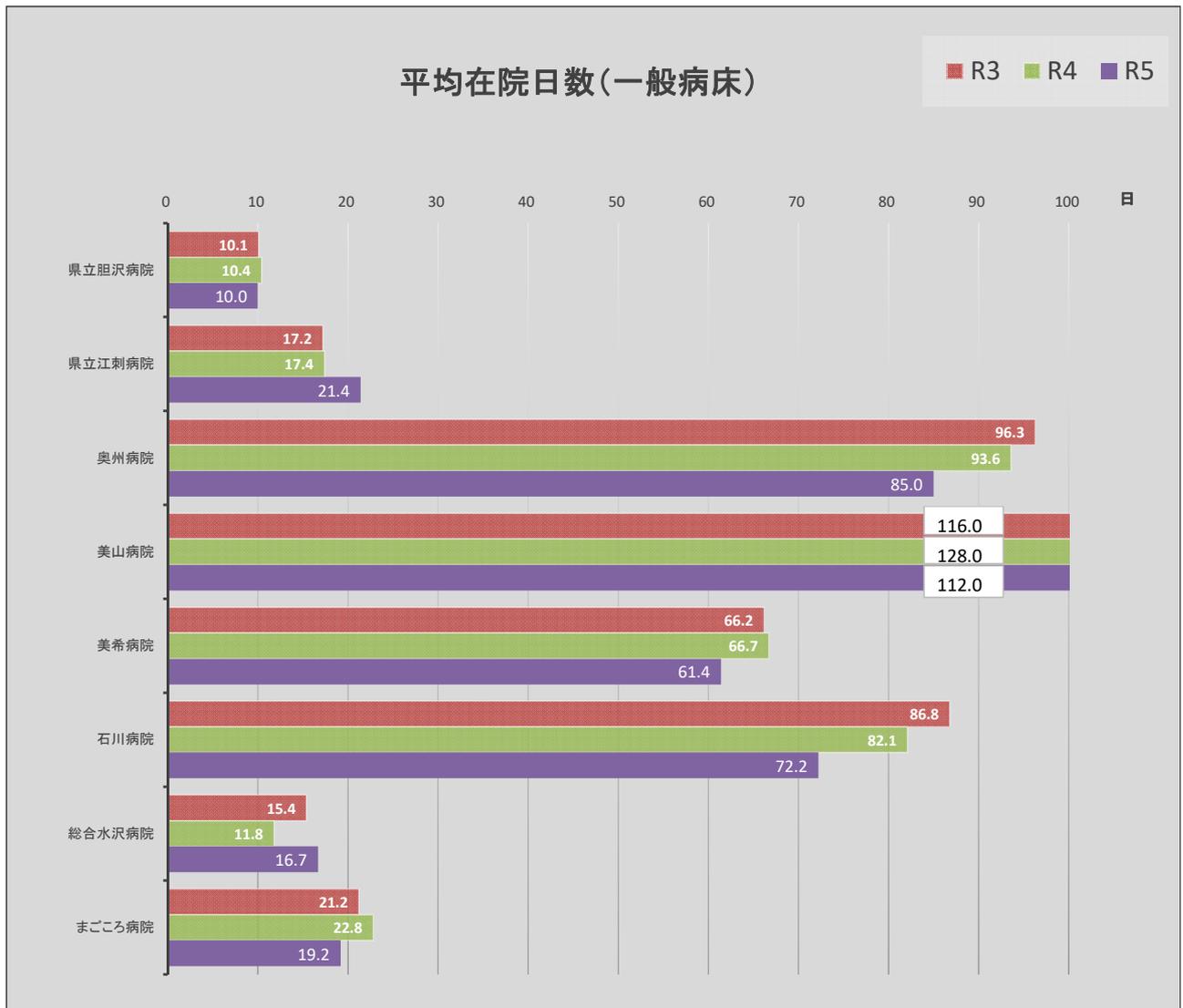
3 今後の対応

新たな地域医療構想に向けた国の動向を注視し、胆江圏域における必要な対応事項等について、国、県の方針に基づき、引き続き胆江圏域地域医療連携会議の場において検討していく。

病院ごとの病床利用率(過去3年)



病院ごとの平均在院日数(過去3年)



各病院の役割と特色(概要)

01 県立胆沢 病院	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療やがん医療等の高度・専門医療を提供 ・地域がん診療病院として、がん診療連携拠点病院(県立中央病院)と連携し、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。 ・地域医療支援病院として、紹介患者に対する医療の提供、地域の医療従事者に対する研修を実施 ・救急告示病院として圏域内を中心に救急患者を受入れ ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣や被災地内の重症傷病者を受入れ ・臨床研修病院として、臨床研修医を受入れ
02 県立江刺 病院	<ul style="list-style-type: none"> ・当院は広大な面積を持つ旧江刺地区唯一の病院であり、基幹病院と連携しながら二次救急病院として、この地域の救急患者の診療を行う一方で、地域包括ケア病床を導入し、他の医療機関や施設と連携しながら回復期の入院医療を行っている。 また、当院は江刺地区唯一の透析医療施設として人工透析(透析装置12台のうち緊急用1台)を行っている。
03 奥州病院	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟を有する胆江地域の後方支援病院。透析(夜間外来透析)、二次救急指定病院、へき地医療拠点病院としての役割も担う。
04 美山病院	<ul style="list-style-type: none"> ・回復期機能を一部持ち併せてはいるが、長期療養や看取りに重点を置いた慢性期医療を実施している。また、「緩和ケアの心をすべての病棟に」をモットーとして、可能な限りの医療サービスが行えるよう取り組んでいる。
05 美希病院	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者福祉施設における嘱託医業務を担っている。また、その施設の入居者、並びに地域の在宅患者の受入れ(サブアキュート機能)を行っている。 ・基幹病院にて急性期治療を終えたが、自宅や施設で生活するのに困難や不安がある患者の受入れ(ポストアキュート)を行っている。 ・医療依存度が高く、在宅や施設への退院が難しい患者が、安心して療養できるよう支援している。 ・健診センターでは、地域の生産年齢人口層の健康増進、並びに予防医療を目的に企業健診や人間ドック業務を展開している。 ・透析治療が必要な患者さんに対し、外来及び入院治療を行っている。 ・病院、併設介護老人保健施設、居宅介護支援事業所、デイケアセンター、訪問リハビリが連携し、医療と介護のサービスを提供することで地域包括ケアシステムの補完及び充実へ寄与している。
06 石川病院	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には慢性期治療を担う病院であるが、かかりつけの患者さんや地域の患者さんの急性期疾患への対応を担う。 ・急性期病院からパスなどによる入院及び外来患者さんの受入れ ・かかりつけ及び地域の患者さんへの在宅医療や緩和治療・看取りなどを担う。
07 総合水沢 病院	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の医療機関との役割分担や連携を図りながら、中・軽度の急性期医療から、ポストアキュートの機能、在宅医療のバックアップベッド機能等、多様な疾患に対応する地域医療に密着した病院

各病院の役割と特色(概要)

08 まごころ 病院	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が少ない胆沢地域において、地域住民のかかりつけ医としての役割と救急外来を中心とした救急医療のほか、地域に密着した病院として、訪問診療や回復期を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。 ・慢性疾患への幅広い診療対応をメインとしながら、肺炎、尿路感染症などの高齢者の軽度急性期にも対応しています。 ・廃用やフレイルが進行し、退院後の生活が困難になることを防ぐためにリハビリテーションに注力しています。 ・介護との連携を密にしながら、訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療、訪問リハビリに取り組むとともに、オンライン診療を導入し在宅医療の充実を図っています。 ・住民健診や予防接種等を積極的に行っています。 ・地域歯科治療とともに、口腔ケアの啓発に努めています。 ・臨床研修医や医学生の研修や実習を積極的に受入れ、人材育成の一端を担い地域医療の促進を図っています。 ・隣接する福祉施設、健康増進施設の3者で連携し、地域住民の健康教育や啓発活動を行っています。
09 おとめがわ 病院	<ul style="list-style-type: none"> ・胆江圏域で精神病床を有する唯一の医療機関 ・入院対応要するケースも含み、精神科領域での圏内医療要請に応える。 ・急性期、回復期、慢性期全体をカバーする良質の医療を目指す。
10 奥州市国民健康保険前沢診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の診療治療を主とした外来診療によるかかりつけ医の機能を担っている。 ・認知症サポート医として認知症の患者と家族へのきめ細かい対応を行っている。認知症専門医への紹介、逆紹介や保健福祉施設との連携を積極的に行っている。 ・心療内科の専門性を通常診療に活かし、臨床心理士と連携して内科疾患患者を心身両面から診る全人的医療の実践を目指している。 ・診療ニーズが高いメンタルヘルス領域の患者の受診や他の診療機関から当科への紹介が多く、可能な範囲で当科で診療の対応をしながら必要に応じて精神科への橋渡しの役割を担っている。
11 奥州市国民健康保険衣川診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・山間へき地である衣川地域唯一の医科医療機関として、へき地診療所としての役割やかかりつけ医機能を担い、県立胆沢病院(紹介先兼紹介元医療機関)や市立医療機関と連携して地域医療の提供を行っている。 ・隣接する衣川地域唯一の高齢者施設の囑託医として、医療介護連携を進めながら、衣川地域の地域包括ケアシステムを支えている。
12 鈴木眼科 吉小路	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の眼科診療を実施
13 井筒医院	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年3月1日、19床廃止
14 桜井医院	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚疾患並びに漢方治療を希望される患者につき、検査及び治療を専門的に行っており、総合水沢病院ないし県立胆沢病院(照会先 地域中核病院)と連携をしている。 ・平成26年4月1日より全て休床(9床)としているが、今年度末に全病床を廃止する予定である。
15 平間産婦人科	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月1日、11床廃止
16 産婦人科 おいなお 医院	<ul style="list-style-type: none"> ・11床休床

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立胆沢病院
-----	----------

診療科目	内科、血液内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、乳腺外科、腎臓内科
------	---

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	337			9		346
	稼動	337			9		346
	非稼動	0					0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	270			3		273
	R4	271			2		273
	R3	262			1		263
							0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	80.1			27.9		78.7
	R4	80.3			27.6		78.9
	R3	77.8			9.4		76.0

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	9.9			8.3		10.0
	R4	10.4			5.7		10.4
	R3	10.1			10.1		10.1
							0

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6.7.1現在		337			9	346
	R7見込(2025年)		337			9	346

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) **なし**

次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし あり 地域医療介護総合確保基金を利用 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立胆沢病院
-----	----------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

- ・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療やがん医療等の高度・専門医療を提供
- ・地域がん診療病院として、がん診療連携拠点病院(県立中央病院)と連携し、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療を提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
- ・地域医療支援病院として、紹介患者に対する医療の提供、地域の医療従事者に対する研修を実施
- ・救急告示病院として圏域内を中心に救急患者を受入れ
- ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣や被災地内の重症傷病者を受入れ
- ・臨床研修病院として、臨床研修医を受入れ

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

- ・介護スタッフを交えた退院前カンファレンスの実施
- ・ケアマネや介護福祉施設と患者情報を共有し、円滑な退院につなげるなど入退院支援機能の強化
- ・NST回診データの共有による医科歯科連携の強化

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

- ・訪問診療部会による訪問診療・看護の継続

(3) 医療従事者の確保

- ・早期離職予防として、メンタルヘルス支援事業の個人カウンセリングを、新採用職員全員に活用促進

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

- ・HCU(6床)を整備予定(令和7年度末)

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立江刺病院
-----	----------

診療科目	内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、小児科、脳神経外科、皮膚科、産婦人科、麻酔科
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	118			15		133
	稼働	60					60
	非稼働	58			15		73

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	48.9			1.8		50.7
	R4	56.9					56.9
	R3	51.3					51.3

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	41.5			11.7		38.1
	R4	48.2					48.2
	R3	43.5					43.5

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	20.6			8.5		21.4
	R4	17.4					17.4
	R3	17.2					17.2

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6.7.1現在			118			118
	R7見込(2025年)			60			60

○ 病床機能等の再編予定 **あり** (運用開始予定時期 R7年度中) **なし**

○ 利用する補助金 なし 地域医療介護総合確保基金を利用 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	病床利用率の低下からR6.4より1病棟休止となり、一般病床60床で運用している。
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	胆江圏域では急性期病床が過剰であったことから、R2に急性期118床を回復期118床に転換し、胆沢病院との役割分担を進めた。 病床利用率の低下によりR6.4から58床を休止しており許可病床を削減しようとするもの。
【整備計画】	地域医療構想調整会議を経て、医療法上の手続き等を開始する予定

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立江刺病院
-----	----------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・当院は広大な面積を持つ旧江刺市地区唯一の病院であり、基幹病院と連携しながら二次救急病院として、この地域の救急患者の診療を行う一方で、地域包括ケア病床を導入し、他の医療機関や施設と連携しながら回復期の入院医療を行っている。
また、当院は、江刺地区唯一の透析医療施設として人工透析(透析装置12台 うち緊急用1台)を行っている。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・介護施設の協力医療機関となり施設入所者の入院受入れを行っている。
・江刺地区の医療機関、介護施設及び行政機関の連携を強化するため、研修や意見交換等を行う場として、当院を事務局とした奥州市江刺地域医療福祉連携懇話会を設置し、年4回の研修会等を開催している。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・在宅療養支援病院として、訪問看護ステーション等と連携しながら在宅患者の訪問診療を行い、在宅での看取りもを行っている。

(3) 医療従事者の確保

・医師については、関係大学医局への訪問や求人募集のほか、県医療局医師支援推進室と連携し確保に努めている。
その他の正規の医療従事者については、県医療局において一括管理(確保)している。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・精神科医による「もの忘れ外来」を週1回行っている。
・地域住民の健康維持等を目的とした市民健康公開講座を実施している。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	医療法人清和会 奥州病院
-----	--------------

診療科目	内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、腎臓内科、人工透析内科、外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、総合診療科
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	38	118				156
	稼働	38	118				156
	非稼働						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	34	109.9				143.9
	R4	33.6	104.5				138.1
	R3	34.4	112.1				146.5
							0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	89.7	94.3				92.9
	R4	88.5	93.0				91.3
	R3	90.3	94.9				93.3

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	27	114				85.0
	R4	31	125				93.6
	R3	32	130				96.3

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6.7.1現在			96	60		156
	R7見込(2025年)			96	60		156

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし あり 地域医療介護総合確保基金を利用 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	医療法人清和会 奥州病院
-----	--------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟を有する胆江地域の後方支援病院
透析(夜間外来透析)、二次救急指定病院、へき地医療拠点病院としての役割も担う。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・地域医療連携部の活動に加え、法人内の事業所である訪問看護ステーション、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等との連携

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟より、入院患者の在宅復帰を図る。また、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリにより在宅患者への充実を図る。

(3) 医療従事者の確保

・各職種養成学校の採用部への訪問及び実習生の受入れ。
ハローワーク、紹介会社の利用や現職員からの紹介等の継続的な実施。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	社団医療法人 啓愛会 美山病院
-----	-----------------

診療科目	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、緩和ケア内科
------	------------------------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	112	60				172
	稼働	112	60				172
	非稼働	0	0				0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	97.8	58.3				156.0
	R4	100.1	58.8				158.9
	R3	96.5	59.0				155.5

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	87.5	97.4				91.0
	R4	89.3	98.0				92.4
	R3	86.1	98.3				90.4

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	74.0	273.0				112.0
	R4	80.0	502.0				128.0
	R3	68.0	238.0				116.0

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6.7.1現在				172		172
	R7見込(2025年)				172		172

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし
 あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	社団医療法人 啓愛会 美山病院
-----	-----------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・回復期機能を一部持ち併せてはいるが、長期療養や看取りに重点を置いた慢性期医療を実施している。また、「緩和ケアの心をすべての病棟に」をモットーとして、可能な限りの医療サービスが行えるよう取り組んでいる。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・長期療養や看取りに重点を置いた慢性期医療を実施
・地域の介護施設等、嘱託医となっている施設へ訪問し連携を強化
・出前医療講演等を実施し、医療・介護関係者との連携を図る。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・出前医療講演等を実施し、医療・介護関係者との連携を行っている。
・入院治療が必要となった在宅患者の受入れ

(3) 医療従事者の確保

・法人内ホームページ等による求人掲載
・学生実習の受入れや職場体験、ふれあい看護体験等を実施し、当院の魅力を発信していく。
・オープンキャンパス等への積極的な参加と病院見学を実施

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・認知症サポート医による認知症患者への医療提供及び緩和ケア病棟での認知症患者の受入れ体制
・回復期・慢性期・緩和・在宅リハと幅広いニーズに対応できるようリハビリテーションの体制強化を図る。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	社団医療法人 啓愛会 美希病院
-----	-----------------

診療科目	内科、循環器内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、皮膚科、小児科、放射線科、脳神経内科、呼吸器内科、漢方内科、糖尿病内科
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	149	100				249
	稼働	149	100				249
	非稼働						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	142.9	94.3				237.2
	R4	140.0	90.5				230.5
	R3	139.4	95.1				234.5

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	95.9	94.3				95.2
	R4	93.9	90.5				92.7
	R3	93.5	95.1				94.2

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	46.1	128.7				61.4
	R4	49.8	168.5				66.7
	R3	49.2	155.6				66.2

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6.7.1現在			149	100		249
	R7見込(2025年)			149	100		249

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期)) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし あり 地域医療介護総合確保基金を利用 その他(補助金名:医療施設近代化施設整備事業における制度)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名

社団医療法人 啓愛会 美希病院

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・地域の高齢者福祉施設における嘱託医療業務を担っている。また、その施設の入居者、並びに地域の在宅患者の受入れ(サブアキュート機能)を行っている。
・基幹病院にて急性期治療を終えたが、自宅や施設で生活するのに困難や不安がある患者の受入れ(ポストアキュート)を行っている。
・医療依存度が高く、在宅や施設への退院が難しい患者が、安心して療養できるよう支援している。
・健診センターでは、地域の生産年齢人口層の健康増進、並びに予防医療を目的に企業健診や人間ドック業務を展開している。
・透析治療が必要な患者さんに対し、外来及び入院治療を行っている。
・病院、併設介護老人保健施設、居宅介護支援事業所、デイケアセンター、訪問リハビリが連携し、医療と介護のサービスを提供することで地域包括ケアシステムの補完及び充実に寄与している。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・地域の診療所、介護老人保健施設、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、調剤薬局等を支えた地域連携懇話会の開催を継続し、互いの顔が見える関係を強固なものとし、シームレスな医療と介護の連携体制を構築する。
・グループ内の医療機関、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、ケアハウス、デイケアセンター、訪問看護(リハビリ)ステーション、居宅介護支援事業所等にて連携を図り、地域包括ケアシステムの補完及び充実に貢献していく。
・退院先の施設スタッフやケアマネ等を実施するカンファレンスや患者情報提供の質の向上を目指す。
・地域の高齢者福祉施設の嘱託医療業務を継続し、より一層の医療と介護の連携を図る。

(2) 在宅医療の充実にに向けた取組について

・2024年より開始した訪問リハビリの充実と拡大を目指し、地域のニーズに応じていく。
・患者や家族との面談等を通して、在宅で利用可能な社会資源や制度の情報提供を積極的に行う。

(3) 医療従事者の確保

・法人のホームページ(リクルートサイト)にて、当院の魅力並びに活動内容を掲載し、よりマッチした求人活動を行っていく。
・実習生の受入れや職場体験を通して、将来の医療従事者へ医療職のやりがいと魅力を感じてもらおう。
・オープンキャンパスへの参加や病院見学を積極的に行い、学生と交流を持つ。
・ハローワークにおける求人掲載(各種職業紹介所を含む)
・奨学金の活用による医療専門職への支援を通じ、人材確保を目指す。
・職員紹介によるインセンティブ制度(紹介謝礼金)の活用促進

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・高齢化が進み、嚥下機能低下による誤嚥性肺炎が増えている社会情勢を鑑み、摂食嚥下リハビリテーションへ力を入れている。安全に経口摂取可能な食事形態を提案するため、摂食嚥下リハビリテーションの効果測定のために嚥下造影・嚥下内視鏡による嚥下検査を適時適切に行っていく。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	社団医療法人 石川病院
-----	-------------

診療科目	内科、外科、循環器科等
------	-------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	20	12				32
	稼働	20	12				32
	非稼働						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	12.3	9.8				22.1
	R4	11.7	9.1				20.8
	R3	11.1	10.2				21.3

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	61.5	82.1				69.2
	R4	58.9	76.0				65.3
	R3	55.5	85.7				66.8

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	49.6	167.2				72.2
	R4	55.8	208.1				82.1
	R3	52.6	288.9				86.8

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6.7.1現在			20	12		32
	R7見込(2025年)			20	12		32

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし あり 地域医療介護総合確保基金を利用 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	社団医療法人 石川病院
-----	-------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・基本的には慢性期治療を担う病院であるが、かかりつけの患者さんや地域の患者さんの急性期疾患への対応を担う。
・急性期病院からバスなどによる入院及び外来患者さんの受入れ
・かかりつけ及び地域の患者さんへの在宅医療や緩和治療・看取りなどを担う。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・かかりつけ及び地域の患者さんへの在宅医療や緩和医療・看取りなどについて、訪問看護などの介護スタッフとの連携

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・かかりつけ及び地域の患者さんの必要に応じた訪問診療、看取りなどを行い、急性期や入院が必要な場合の受入れを担う。

(3) 医療従事者の確保

・休職者、退職者の再就職支援、看護学生への支援、外国人の採用などの検討

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・認知症の早期診断などの外来診療、回復期やリハビリの体制を構築

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市総合水沢病院
-----	-----------

診療科目	内科、小児科、外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、精神科、循環器内科、神経内科、整形外科、麻酔科、産婦人科
------	---

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	145				4	149
	稼働	95				4	99
	非稼働	50				0	50

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	45.0					45.0
	R4	40.2					40.2
	R3	47.6					47.6

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	47.4					47.4
	R4	42.3					42.3
	R3	50.4					50.4

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	16.7					16.7
	R4	11.8					11.8
	R3	15.4					15.4

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他 ※	計
	R6.7.1現在		20	75		50	145
	R7見込(2025年)		20	75		50	145

※「その他」の50床は、休床中の病床数です。

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 ・なし
 ・あり □地域医療介護総合確保基金を利用
 □その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市総合水沢病院
-----	-----------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・圏域の医療機関との役割分担や連携を図りながら、中・軽度の急性期医療からポストアキュートの機能、在宅医療のバックアップベッド機能等、多様な疾患に対応する地域医療に密着した病院

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・ケアマネージャーや介護スタッフを交えた退院カンファレンスの実施
 ・退院情報提供シートの活用による情報提供
 ・居宅介護支援事業所等の訪問による情報交換
 ・連携だよりの定期発行
 ・常時医療的ケアを必要とする患者家族、介護サービス等の利用が困難な患者家族のための空床を活用したレスパイト入院の実施

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

訪問看護ステーションを併設し、以下について取り組んでいる。
 ・訪問看護の質向上に向け、医療依存度の高い利用者の受入れや在宅精神疾患患者に対応できるよう専門看護師(特定行為修了看護師)または、精神看護研修修了看護師を確保し対応している。
 ・在宅療養者の推進に向け地域の医療機関、県立病院、岩手医科大学付属病院と連携を図り、24時間対応体制を整備し対応している。
 ・訪問診療と連携を図り、在宅ターミナルケアの推進を図っている。
 ・重度心身障がい児・医療的ケア児の退院後の在宅療養受入れに向け、小児医療機関(県立病院、岩手医科大学付属病院、宮城こども病院等)と連携を強化し支援している。

(3) 医療従事者の確保

・関係大学医局訪問による医師派遣要請
 ・奨学金養成医師の受入れ
 ・医科大学及び医療系養成学校の実習の受入れ
 ・ふれあい看護体験等の職場体験学習の受入れ
 ・就職説明会参加
 ・病院見学会開催
 ・ハローワーク・紹介会社の利用

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・神経内科、精神科との連携
 ・認知症ケア委員会を設置し対応
 ・院内認知症研修会実施

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市国民健康保険まごころ病院
-----	-----------------

診療科目	内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、歯科口腔外科
------	-----------------------------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	48					48
	稼働	48					48
	非稼働						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	31.8					31.8
	R4	32.3					32.3
	R3	32.0					32.0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	66.2					66.2
	R4	67.4					67.4
	R3	66.6					66.6

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	19.2					19.2
	R4	22.6					22.6
	R3	21.2					21.2

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6.7.1現在			48			48
	R7見込(2025年)			48			48

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし
 あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市国民健康保険まごころ病院
-----	-----------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・医療機関が少ない胆沢地域において、地域住民のかかりつけ医としての役割と救急外来を中心とした救急医療のほか、地域に密着した病院として、訪問診療や回復期を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。
 ・慢性疾患への幅広い診療対応をメインとしながら、肺炎、尿路感染症などの高齢者の軽度急性期にも対応しています。
 ・廃用やフレイルが進行し、退院後の生活が困難になることを防ぐためにリハビリテーションに注力しています。
 ・介護との連携を密にしながら、訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療、訪問リハビリに取り組みむとともに、オンライン診療を導入し、在宅医療の充実を図っています。
 ・住民健診や予防接種等を積極的に行っています。
 ・地域歯科診療とともに、口腔ケアの啓発に努めています。
 ・臨床研修医や医学生の研修や実習を積極的に受け入れ、人材育成の一端を担い地域医療の促進を図っています。
 ・隣接する福祉施設、健康増進施設の3者で連携し、地域住民の健康教育や啓発活動を行っています。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・地域医療連携室から関係機関に対して積極的な情報提供を行います。
 ・退院支援が円滑に進むよう退院時の介護職員への情報提供を進めます。
 ・介護施設からのサブアキュート患者を積極的に受け入れます。
 ・介護施設との間で情報共有が可能となるような研修機会を設けます。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・介護や福祉スタッフとの連携を密にしながら、訪問診療、訪問歯科診療、訪問看護、訪問リハビリに取り組みます。
 ・在宅療養支援病院として訪問看護ステーションと連携を取り、24時間体制で在宅医療を担います。
 ・新興感染症が発生しても在宅医療を継続できるようオンライン診療を導入します。
 ・患者や家族からの希望に沿い、終末期の在宅看取りに対応をする。また、胆江圏域の医療機関からの在宅看取りの依頼に対応します。

(3) 医療従事者の確保

・奥州市医療局において、他の4つの市立医療機関の状況も含めて総合的に確保に努めています。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・認知症サポート医を抱える医療機関として、患者診療や家族の相談に応じます。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	おとめがわ病院
-----	---------

診療科目	精神科
------	-----

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可			274			274
	稼働			274			274
	非稼働			0			0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5			242.1			242.1
	R4			247.1			247.1
	R3			247.1			247.1

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5			88.4%			88.4%
	R4			90.2%			90.2%
	R3			91.6%			91.6%

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5			392.6			392.6
	R4			499.0			499.0
	R3			494.0			494.0

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6.7.1現在					274	274
	R7見込(2025年)					274	274

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし

次ページ 2へ

○ 利用する補助金 なし
 あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	おとめがわ病院
-----	---------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・胆江圏域で精神病床を有する唯一の医療機関。入院対応要するケースも含み、精神科領域での圏内医療要請に応える。急性期、回復期、慢性期全体をカバーする良質の医療を目指す。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・精神医療の目標は治癒と自立におかれるが、これが完全に実現されることは少なく、継続的な精神的介護、身体的介護、生活介護が必要になるケースが少なくない。その内容は個々人で大きな開きがある。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・在宅生活が可能な能力と環境が満たされていれば、無論、在宅医療が第一選択となる。それが十分に満たされていない場合には他の医療形態、療養形態を考慮せざるを得ない。

(3) 医療従事者の確保

・医療従事者の確保は積年の課題となっている。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・県南地域認知症疾患医療センターとして、認知症BPSD患者の治療受入れ、相談業務等へのスタッフ派遣等の取組を行っている。
・精神疾患リハビリの一環としての作業療法、デイケア訪問看護等が行われている。

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市国民健康保険前沢診療所
-----	----------------

診療科目	内科、呼吸器科、循環器内科
------	---------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	19					19
	稼働						0
	非稼働	19					19

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	0.0					
	R4	0					
	R3	0					

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	0					
	R4	0					
	R3	0					

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5	0.0					
	R4	0.0					
	R3	0.0					

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他(休床)	計
	R6.7.1					19	19
	R7見込(2025年)					19	19

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期)) **なし**



なし

次ページ 2へ

○ 利用する補助金 ・なし
 ・あり □地域医療介護総合確保基金を利用
 □その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市国民健康保険前沢診療所
-----	----------------

2 他の医療機関との機能連携等

・生活習慣病の診療治療を主とした外来診療によるかかりつけ医の機能を担っている。
・認知症サポート医として認知症の患者と家族へのきめ細かい対応を行っている。認知症専門医への紹介、逆紹介や保健福祉施設との連携を積極的に行っている。
・心療内科の専門性を通常診療に活かし、臨床心理士と連携して内科疾患患者を心身両面から診る全人的医療の実践を目指している。
・心療ニーズが高いメンタルヘルス領域の患者の受診や他の診療機関から当科への紹介が多く、可能な範囲で当科で診療の対応をしながら必要に応じて精神科への橋渡しの役割を担っている。

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

--

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

--

(3) 医療従事者の確保

--

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

--

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市国民健康保険衣川診療所
-----	----------------

診療科目	内科、リハビリテーション科
------	---------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可						
	稼働						
	非稼働						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5						
	R4						
	R3						

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5						
	R4						
	R3						

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5						
	R4						
	R3						

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R6.7.1			19			19
	R7見込(2025年)			19			19

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし



次ページ 2へ

○ 利用する補助金 ・なし
 ・あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	奥州市国民健康保険衣川診療所
-----	----------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・山間へき地である衣川地域唯一の医科医療機関として、へき地診療所としての役割やかかりつけ医機能を担い、県立胆沢病院(紹介先兼紹介元医療機関)や市立医療機関と連携して地域医療の提供を行っている。
・隣接する衣川地域唯一の高齢者施設の嘱託医として、医療介護連携を進めながら、衣川地域の地域包括ケアシステムを支えている。

--

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

--

より

(3) 医療従事者の確保

--

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

--

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	民間診療所（鈴木眼科吉小路、桜井医院、産婦人科おいな お医院）
-----	------------------------------------

診療科目	鈴木眼科（眼科）、桜井医院（皮膚科、漢方内科）、産婦人科おいなお医院（産婦人科）
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可						0
	稼動						0
	非稼動						

一日平均 入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5						0
	R4						0
	R3						0
							0

病床 利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5						0
	R4						0
	R3						0
							0

平均 在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R5						0
	R4						0
	R3						0
							0

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他(休床)	計
	R6.7.1現在		10			20	30
	R7見込 (2025年)		10			20	30

○ 病床機能等の再編予定 あり （運用開始予定時期 ） なし

次ページ 2へ

○ 利用する補助金 ・なし
 ・あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他（補助金名： ）を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。
 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	民間診療所(鈴木眼科吉小路、桜井医院、産婦人科おいなお医院)
-----	--------------------------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

(鈴木眼科吉小路:急性期10床) ・特になし (桜井医院:9床休床中) ・皮膚疾患並びに漢方治療を希望される患者につき、検査及び治療を専門的に行っており、水沢病院ないし胆沢病院(紹介先 地域中核病院)と連携をしている。 ・平成26年4月1日より全て休床としているが、今年度末に全病床を廃止する予定である。 (産婦人科おいなお医院:11床休床中) ・令和3年3月頃から全て休床中。今後、全病床の廃止を検討。
--

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

--

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

--

(3) 医療従事者の確保

--

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

--

病床機能別病床数（総括表：一般病床と療養病床）

別紙 1

2024年病床数（現在）

2025年病床数見込と2025年必要病床数の比較

単位：床

病院等	区分	急性期	回復期	慢性期	休床等	計	区分	急性期	回復期	慢性期	休床等	計	
県立胆沢病院	病床数 (2024. 7. 1 現在) ↑ 2024. 10月照 会回答によ る	337				337	病床数 (2025. 4. 1 見込) ↑ 2024. 10月照 会回答等に よる	337				337	
県立江刺病院			60		58	118			60			60	
奥州病院			96	60		156			96	60		156	
美山病院				172		172				172		172	
美希病院			149	100		249			149	100		249	
石川病院			20	12		32			20	12		32	
総合水沢病院			20	75		50		145	20	75		50	145
まごころ病院				48				48		48			48
前沢診療所						19		19				19	19
衣川診療所				19				19		19			19
民間診療所			10			20		30	10			11	21
おとめがわ病院						274		274				274	274
計		367	467	344	147	1325	計①	367	467	344	80	1258	
参考：平成26年病床機能報告							地域医療構想 策定時の2025 年必要病床数 ②	357	312	445		1114	
病床機能別区分	急性期	回復期	慢性期	計									
胆江圏域	825	60	606	1491	過不足病床数 (①-②)	10	155	-101	80	144			

病床機能別病床数（総括表：一般病床と療養病床） ※奥州市新医療センター開設を仮定して入れ替えたもの

別紙2

2024年病床数（現在）

2025年病床数見込と2025年必要病床数の比較

単位：床

病院等	区分	急性期	回復期	慢性期	休床等	計	区分	急性期	回復期	慢性期	休床等	計		
県立胆沢病院	病床数 (2024. 7. 1 現在) ↑ 2024. 10月照 会回答によ る	337				337	病床数 (2025. 4. 1 見込) ↑ 2024. 10月照 会回答等によ る	337				337		
県立江刺病院			60		58	118			60			60		
奥州病院			96	60		156			96	60		156		
美山病院					172	172					172	172		
美希病院				149	100	249				149	100	249		
石川病院				20	12	32				20	12	32		
奥州市新医療センター			20	75		50		145		20	60		80	
まごころ病院				48				48			48		48	
前沢診療所						19		19				19	19	
衣川診療所				19				19			19		19	
民間診療所			10			20		30		10			11	21
おとめがわ病院						274		274					274	274
計		367	467	344	147	1325	計①	367	452	344	30	1193		
参考：平成26年病床機能報告							地域医療構想 策定時の2025 年必要病床数 ②	357	312	445		1114		
病床機能別区分	急性期	回復期	慢性期	計										
胆江圏域	825	60	606	1491	過不足病床数 (①-②)	10	140	-101	30	79				

病床機能別病床数（総括表：一般病床と療養病床）

参考

2023年病床数（現在）

令和5年度第3回胆江圏地域医療連携会議資料

2025年病床数見込と2025年必要病床数の比較

単位：床

病院等	区分	急性期	回復期	慢性期	休床等	計	区分	急性期	回復期	慢性期	休床等	計	
県立胆沢病院	病床数 (2023.7.1 現在) ↑ 2023.10月照 会回答によ る	337				337	病床数 (2025.4.1 見込) ↑ 2023.10月照 会回答によ る	337				337	
県立江刺病院			118			118			60		58	118	
奥州病院			96	60		156			96	60		156	
美山病院				172		172				172		172	
美希病院			149	100		249			149	100		249	
石川病院			20	12		32			20	12		32	
総合水沢病院			20	75		50		145	20	75		50	145
まごころ病院				48				48		48			48
前沢診療所						19		19					0
衣川診療所				19				19		19			19
民間診療所			10		19	31		60	10		19	11	40
おとめがわ病院						274		274				274	274
計		367	525	363	100	1355	計①	367	467	363	119	1316	
参考：平成26年病床機能報告							地域医療構想 策定時の2025 年必要病床数 ②	357	312	445		1114	
病床機能別区分	急性期	回復期	慢性期	計									
胆江圏域	825	60	606	1491	過不足病床数 (①-②)	10	155	-82	119	202			